



磯馴松通信2016

東松島市立矢本第一中学校便り

東松島市小松字上浮足194番地

TEL 82-2146 Fax 82-7995

踏まれて強くなる麦のように

校長 舛田 育久

明けましておめでとうございます。新しい年が始まりました。昨日の始業式に臨む生徒の姿は、



引き締まった中にも穏やかな表情を浮かべ、いい休みの過ごし方をしてきたのだと感じることができました。3年生にとっては、特に大切な年になります。有終の美を飾り、新たなステージで活躍できるよう一丸となり支えていきたいと思えます。

今年も、学校の教育活動にご理解ご支援をいただきますよう、よろしく願いいたします。

【第3学期始業式式辞より】

新年明けましておめでとうございます。新しい年平成29年が始まりました。「気分一新」新たな目標を掲げ新年を迎えたことと思えます。

3年生にとっては、義務教育最後の学期となります。高校受験を控え、焦りと不安、そして、希望とが入り交じっていることと思えます。自らの夢実現のため、体調管理を含め、今できること、やるべきことを確実に行っていきましょう。

1・2年生の皆さんは、この冬場をどう制するかが、新年度の飛躍の鍵となります。学習でも、部活動でも地力をつけるチャンスです。努力を惜しまず取り組んでいきましょう。

先日、東松島市で行なわれていた「麦踏み」の写真が新聞に掲載されていました。麦踏みは、文字通り秋まきの麦の芽を踏みつける、という冬場のこの時期に行われる日本独特の農作業です。「麦は踏まれて強くなる」と昔から言われていますが、なぜ冬場のこの時期に、出てきた麦の芽をわざわざ踏むという作業を行うのでしょうか。

それは、次のような理由からだそうです。踏まれて傷ついた麦の芽や根には、それを治そうとして、エチレンという植物成長ホルモンが、通常よりも多く発生します。すると、そのエチレンのお陰で根は数を増やし、茎は太く丈夫になります。踏まれた麦は、踏まれない麦よりも、強風でも倒れない、強い麦に育つというのです。農家の人たちは、昔から経験を通してこのことを知っていて、麦踏みを行なってきたのです。

麦ではない私たちには、エチレンはありません。それでも、困難にぶつかった時、これを乗り越えた先に、さらに成長した自分があることを信じて、立ち向かっていくしかありません。智恵を絞り、様々な工夫を凝らし、そして、継続することで道は拓かれます。

自ら掲げた今年の目標を、実現させるためにも、踏まれて強くなる麦同様に、困難を乗り越え、自らが成長するための努力を惜しまず取り組んでいきましょう。そして、平成29年をよい年にしていきましょう。

3 学期の抱負（要旨）

1 年代表 小山俊輔さん

個人的に2学期の期末考査で成績が下がった。2学期で内容が難しくなったのに、それに対応して勉強時間を増やさなかったことが原因である。

自主勉強の提出や内容の工夫をして、しっかりと学習に取り組みたい。

部活動は体力をつけて、競技に耐えられるようにしたい。

苦手なことでも努力して、さまざまなことに取り組みたい。



2 年代表 鈴木有希さん

2年生はいろいろなことで進歩があるが、一所懸命取り組み、さらに改善したい。

学習面では、復習をしっかりと行い、学習を定着させたい。

また、授業中の私語がまだまだあるので改善したい。

生活面では、落ち着きが出てきている。声がけする人が出てきたからだと思う。ベル着などができるようにしたい。

部活動については、中総体へ向けて、練習を怠らず、中総体で勝利したい。



3 年代表 田母神みずきさん

志望校合格へ向けて頑張りたい。まず、規則正しい生活をするのが基本である。

時間を大切にし、ベル着や提出物の期限を守るようにしたい。自分で意識的に動けるようにしたい。

中学校生活の集大成なので、学年の団結力を示したい。



生徒会代表 小野寺莉香さん

生徒会として挨拶の活性化を目指している。心が通い合う理想の挨拶を目指している。

挨拶の当番に全員が出るようにし、やるべきことをやって次のステップへ進みたい。

「進める3学期」にしたい。